

松浦地区消防署が優勝

— 第4回松浦市民駅伝大会 —



第4回松浦市民駅伝大会が2月22日、御厨町のじげもん市場前をスタートし、今福支所前をゴールとする8区間、24.4^キのコースで行われました。

大会には、一般の部に34チーム、中学の部に6チームが参加。選手は、沿道からの声援を受けながら、健脚を競い、松浦地区消防署が優勝を果たしました。

結果は次の通りです（記録は3位まで、敬称略）。

〔一般の部〕

〈総合成績〉 青字は大会新

- ① 松浦地区消防署 1時間26分26秒
- ② アリガトウ 1時間26分52秒
- ③ 小船クラブ 1時間31分59秒
- ④ 中興化成
- ⑤ じえいべつく
- ⑥ J・POWER
- ⑦ 今福小学校PTCA・A
- ⑧ とくだ組
- ⑨ 鷹島走ろう会
- ⑩ 福島陸上協友会
- ⑪ 松浦幼稚園
- ⑫ ミトコンドリア
- ⑬ アリガトウ10周年
- ⑭ どんぐりころころ

- ⑮ 九電松浦発電所
- ⑯ 菊地病院
- ⑰ JAながさき西海
- ⑱ 九電産業(株)
- ⑲ 志佐小PTCAはしらんば
- ⑳ 先生
- ㉑ 星鹿小PTCA
- ㉒ 陸援隊
- ㉓ 中興RC

- ㉔ 松浦衛生事業協同組合
- ㉕ チームJPK千里
- ㉖ 松浦市役所野球部
- ㉗ 住商エアバッグ・システムズA
- ㉘ 九電松浦発電所B
- ㉙ 御厨小学校PTA
- ㉚ 今福小学校PTCA・B
- ㉛ 郵便局RC
- ㉜ 松浦市役所青年部
- ※ オープン参加（2チーム）
・ランナーズSEIHO
・S

〈区間賞〉 青字は区間新

- ▽1区（3・3^キ）柴山勇喜 11分17秒
（鷹島走ろう会）
- ▽2区（3・8^キ）岡本善博 11分53秒
（じえいべつく）
- ▽3区（3・7^キ）松尾匡易 11分22秒
（アリガトウ）
- ▽4区（3・2^キ）井上慎一朗 10分49秒
（ランナーズSEIHO）
- ▽5区（3・5^キ）大塚純司 11分31秒
（松浦地区消防署）

〔中学の部〕

〈総合成績〉 青字は大会新

- ① 今福中学校A 1時間21分39秒
- ② 今福中学校B 1時間29分18秒
- ③ 御厨中学校 1時間30分23秒
- ④ 調川中学校
- ⑤ 志佐中駅伝部
- ⑥ 御厨中野球部

〈区間賞〉 青字は区間新

- ▽6区（1・3^キ）吉岡健次 5分34秒
（アリガトウ）
- ▽7区（1・8^キ）森 孝正 6分56秒
（小船クラブ）
- ▽8区（3・8^キ）赤木駿介 12分27秒
（松浦地区消防署）
- ▽1区（3・3^キ）中山公仁 10分39秒
（今福中学校A）
- ▽2区（3・8^キ）坂本竜平 12分2秒
（調川中学校）
- ▽3区（3・7^キ）白石海斗 12分2秒
（今福中学校A）
- ▽4区（3・2^キ）福井斗喜也 10分49秒
（今福中学校A）
- ▽5区（3・5^キ）千北喬之 11分17秒
（今福中学校A）
- ▽6区（1・3^キ）久枝大寛 5分29秒
（志佐中駅伝部）
- ▽7区（1・8^キ）田中大巳 6分40秒
（今福中学校A）
- ▽8区（3・8^キ）松尾 龍 11分34秒
（今福中学校A）

中世の松浦 (5)

「文永の役」の後、鎌倉幕府は、次の元軍襲来に備えて九州各地の武士たちを博多湾沿岸に集め、石塁を築かせ交替で警備に当たらせていました。

1279年に南宋を滅ぼして中国全土を統一した元は、弘安4年(1281年)5月に再び大軍をもって日本を襲いました。元軍は二派に分かれて攻めてきました。先発の東路軍は船約9百隻、兵約4万人で対馬を襲い、壱岐に上陸し、その後博多に向かいました。日本側は、海岸に築いた石塁によって元軍の上陸を防ぎ、小船を操って夜中に敵船を攻撃して元軍を苦しめました。博多への上陸を断念した東路軍は、再び壱岐へ引き返し、後から来る本隊の江南軍と合流しようとした。1か月ほど遅れて来た江南軍は、船約3千5百隻、兵約10万人という大軍でした。五島や平戸を荒らした後、伊万里湾に集結しました。そこに壱岐で待っていた東路軍も加わり、伊万里湾から平戸周辺の海は元軍の船で埋め尽くされてしまいました。平戸周辺で南路軍と合流した元軍は、態勢を立て直して大宰府を攻め落とそうと博多攻撃の機会を狙っていました。

数日後、鷹島付近に移動していた元軍を突然暴風雨が襲います。元軍の船はその兵とともに、ほとんどが沈没してしまいました。この戦いを「弘安の役」と呼んでいます。



▶元寇に関する資料を展示している鷹島歴史民俗資料館

ジェシカ先生 (アメリカ出身)



Ninja Park 忍者パーク

長崎県のALTたちと嬉野の肥前夢街道に行きました。天気の良い週末の午後で、波佐見、伊万里、松浦からそれほど遠くないところなのに、ほとんど人がいないのに驚きました。私たちALT(全員20代)は皆忍者の衣装を着て、プラスチックの剣を持って走りまわり、互いを相手に壮大な戦いを行いました。

入場した時は、大道芸人の皆さんに迎えられ、私たちだけのために芸を披露してくれました。また劇場で2人の忍者が出演する忍者ショーを見たり、手裏剣の投げ方や、吹き矢の使い方、弓の引き方を教わったりしました。さらには身のこなし方の練習や、壁を登ったり、ぶら下がったり、持ち上げたりといった「忍者修行」も行いました。

これまで日本で過ごした最高の週末の一つでした。リフレッシュできたし、元気になりました。人は大人になると、もう遊ぶことはできないと感じ、まじめになっていくと思いますが、時には子どものように遊び、思いっきり笑うことは健康にとっても良いと思います。私は、子どもたちや子どもの心を持った大人の人に忍者になって遊んでみることをお勧めします。



▲右から3番目がジェシカ先生